

近江八幡市教育大綱(案)に寄せられたご意見と市の考え方

受付番号	項目番号	ページ	行目	寄せられたご意見	市としての考え方
1	1	4	20	日本は、昔から、資源がなく、ものづくりで伸びてきた国だと思います。近江八幡には、八幡工業高校、八幡商業高校、農業大学校、ポリテクカレッジ、等、ものづくりの学校があるので、合同の文化祭の開催をして、異業種の、技術交換をして、物の開発を目指す技術者を、増やすようにする。そこに、企業参加、個人参加なども平行に行い、大阪の、中小企業が作った、衛星に負けない、近江八幡市にする。	具体的な各種施策については、大綱策定後、検討する予定です。 施策を検討する段階で、貴重なご意見として参考とさせていただきます。
2	1	1	9	2ページ14行目の表現にあわせるため、「根本となります」を「根本となる」に表現をあわせてはどうか。	1ページ目は大綱策定にあたっての市長あいさつであり、変更しない方向です。
	2	3	3	「3年間に限定せず」とは、4年も5年も先までという意味にとれるので、表現を変更してはどうか。	期間について、法律においては特に定めはありません。今回は3年間ですが、次回定める大綱については、3年間に限定せず、総合教育会議での協議・調整において決定することから、「3年間に限定せず」と表現しているところです。
	3	3	4～5	「見直し及び決定していく」について、「及び」は不要ではないか。	表現について修正させていただきます。
	4	3	12	「施策を遂行する」の「遂行する」については、各種施策の実施という表現にあわせるかたちで「実施する」に統一してはどうか。	表現について修正させていただきます。
	5	4	5	中央教育審議会の打ち出した「生き抜く力」とは、「社会を生き抜く力」という意味でもっと広い意味である。ここでは、本来的には「生きる力」を用いるべきであろう。しかし、今後を見通して「生き抜く力」を使うこともインパクトがあって良いキーワードになると考えられる。	総合教育会議において、「生きる力」「生き抜く力」の表現について議論を行った結果、「生き抜く力」を採用することとなりました。
	6	4	7	1ページ13行目「これまで以上に本市の教育行政が推進できる」という文言に呼応させるため、「教育行政を実現する」を「教育行政をより一層推進する」に表現を変更してはどうか。	表現について修正させていただきます。
	7	4	8	1ページ16行目「近江八幡を実現してまいります」に呼応させることがのぞましいと思われるので、表現を変更してはどうか。	表現について修正させていただきます。
	8	4	15	中教審「第2期教育振興計画」から引用する方が理解しやすいので、「社会にも流されない生き抜く力を伸ばす」を「多様で変化の激しい社会を生き抜く力を育む」に表現を変更してはどうか。	表現について修正させていただきます。

近江八幡市教育大綱(案)に寄せられたご意見と市の考え方

受付番号	項目番号	ページ	行目	寄せられたご意見	市としての考え方
2	9	4	17	文意がおかしいと思うので、「身近な大人として親を見て」を「身近な大人としての親を見て」に表現を変更してはどうか。	表現について修正させていただきます。
	10	5	4	『学習指導要領解説 道徳編』では、「道徳心を養う」という表現は見当たらないため、「道徳心」を「道徳性」に表現を変更してはどうか。	文言について、総合教育会議で議論させていただき、今回は「心」の教育を行うことに取り組む必要があるとの結論に至り、案のとおり採用させていただきます。
	11	5	4	市民にとって「醸成」という言葉はやや難しいと思われる。「感情を醸成する」という表現にも少し違和感があるので、「醸成します」を「育みます」に表現を変更してはどうか。	自尊感情は、「徐々に育てたい」と考えましたので、「醸成します」を採用させていただきます。
	12	5	7	健康増進(を高めます)というつながりになると思われるが、「健康増進を高める」とは言わないため、「市民の健康増進」の表現について、変更してはどうか。	表現について修正させていただきます。
	13	5	3～8	「15の目標」と同じ表現では、視点か目標かの区別がつきにくい。視点に、より重みを持たせるため、「5つの視点」の文末表現「～します」について、変更してはどうか。	視点と目標は、基本理念と3つの柱からなる方針に続く「考え方」と「目標」を示すものであることから、大きく区別する必要はないと考えますので、表現はそのままさせていただきます。
	14	5	9～10	この2行を、2行目の「1)5つの視点」の次の行に入れてはどうか。 説明があつて、次に枠囲みの5つの視点が続くほうが、読んでいて、この方が流れがよく、理解しやすい。	お示しする必要があるものは、まず5つの視点であること、そして4ページでの表現の配置も同じような順で表現していることから、並びはそのままさせていただきます。
	15	5	12	「社会情勢の変化にも」の「も」は不要ではないか。	表現について修正させていただきます。
	16	5	15	「いじめ問題」を防ぐというのではなく、「いじめ」という行為を未然に防ぐので、「問題」は不要ではないか。	表現について修正させていただきます。
	17	5	15	「心の教育」を説明(修飾)する言葉が「正しい判断ができる」では文意が通らないので、「正しい判断ができる心の教育」を「正しい判断ができるよう心の教育」に表現を変更してはどうか。	表現について修正させていただきます。
	18	5	16～17	「自尊感情」の説明が長すぎる。『生徒指導提要』(文科省)P162より引用して、「自分を価値ある存在として尊重する感情を育みます」と表現を変更してはどうか。	説明文について、総合教育会議で議論させていただき、自尊感情は身近な人たちの評価も通じて確認することも必要であるとの結論に至り、案のとおり採用させていただきます。
	19	6	2	基本的な生活習慣の育成を、本市教育の基盤に置くという主旨が明確に伝わってくる。「基調」は、軽くて曖昧さが残るので、「基調とした」を「基盤とした」に表現を変更してはどうか。	近江八幡市教育振興基本計画の目標を採用しており、市の大綱のベースとなる同計画を尊重するため、案のとおり採用させていただきます。

近江八幡市教育大綱(案)に寄せられたご意見と市の考え方

受付番号	項目番号	ページ	行目	寄せられたご意見	市としての考え方
2	20	6	5	「努めます」という文言は、行政用語で曖昧であるため使用しないため、「就学前教育の充実に努めます」の表現について、変更してはどうか。	近江八幡市教育振興基本計画の目標を採用しており、市の大綱のベースとなる同計画を尊重するため、案のとおり採用させていただきます。
	21	6	6	目標を設定するのは「学力」ではなく「授業(指導)」であることから、「目標を明確に設定した確かな学力を」を「目標を明確に設定した授業を通して確かな学力を」に表現を変更してはどうか。	学力を向上するためには「明確な目標」が必要であると考えました。このようなことから、案のとおり採用させていただきます。
	22	6	7	今頃、国際化を視野に入れているようでは遅すぎる。また、「努めます」は努力目標であり実践目標でない。「グローバル化に対応できる人材を育成します」と、表現を変更してはどうか。	教育に関する施策として、すでに取り組んでいる分野ではありますが、近江八幡市教育振興基本計画には記載のない項目であり、大綱として明記したことから、まずは「国際化」を視野にいれ対応できる人材育成に「努める」ことから始めることが必要であると考え、案のとおり採用させていただきます。
	23	6	8	「健やかな心」とは何か。このような表現はまれである。道徳の教科化が決定している今こそ、豊かな心の育成に一層力を入れてもらいたいのので、「健やかな心と体」を「豊かな心と健やかな体」に表現を変更してはどうか。	近江八幡市教育振興基本計画の目標を採用しており、市の大綱のベースとなる同計画を尊重するため、案のとおり採用させていただきます。
	24	6	10	明確に表現し、目標達成に責任を持つ必要があることから、「努めます」を「取り組みます」に表現を変更してはどうか。	教育に関する施策として、すでに取り組んでいる分野ではありますが、近江八幡市教育振興基本計画には記載のない項目であり、大綱として明記したことから、まずは家庭や地域ぐるみで学習や啓発に「努める」ことから始めることが必要であると考え、案のとおり採用させていただきます。
	25	6	11	後ろに「提供」という言葉があるので「親への」と対象を明確にするため、「親の学習機会」を「親への学習機会」表現を変更してはどうか。 また、親からは、「今更学習とは何事か。上から目線だ」という声も聞こえてきそうだが、親の学習する必要性を訴えるためには、「研修」よりも「学習」という言葉の方が適切であると考え。	表現について修正させていただきます。
	26	6	12	努力目標ではなく、行動目標で示すことが大事であり、具体的な施策につなぐとする責任感も伝わることから、「仕組みの構築に努めます」を「仕組みを構築します」に表現を変更してはどうか。	文言について、総合教育会議で議論させていただき、「仕組みを構築します」の表現では新たな取組を行うにあたり言い切りの形をとるのは事業のハードルをいきなりあげることになるとの結論に至り、案のとおり採用させていただきます。
	27	6	16	努力目標ではなく、行動目標で示すことが大事であり、具体的な施策につなぐとする責任感も伝わることから、「環境づくりに努めます」を「環境をつくります」に表現を変更してはどうか。	郷土愛の観点について、今回初めて採用させていただきました。郷土愛が醸成できる環境づくりに「努める」ことから始めたいことから、案のとおり採用させていただきます。

近江八幡市教育大綱(案)に寄せられたご意見と市の考え方

受付番号	項目番号	ページ	行目	寄せられたご意見	市としての考え方
2	28	6	18	6ページ15行目「機会を充実し」に合わせる(充実させるという使役動詞は使わない)ことが望ましいため、「機会を充実させます」を「機会を <u>充実します</u> 」に表現を変更してはどうか。	表現について修正させていただきます。
	29	6	19	努力目標ではなく、行動目標で示すことが大事であり、具体的な施策につなごうとする責任感も伝わることから、「読書環境の <u>充実</u> に努め、」を「 <u>読書環境を充実し、</u> 」に表現を変更してはどうか。	近江八幡市教育振興基本計画の目標を採用しており、市の大綱のベースとなる同計画を尊重するため、案のとおり採用させていただきます。
	30	6	21	努力目標ではなく、行動目標で示すことが大事であり、具体的な施策につなごうとする責任感も伝わることから、「組織力の向上に努め」を「組織力の向上に <u>取り組み</u> 」に表現を変更してはどうか。	近江八幡市教育振興基本計画の目標を採用しており、市の大綱のベースとなる同計画を尊重するため、案のとおり採用させていただきます。
	31	6	23	本大綱を通して、家庭・学校・地域という順番で統一した方がよい。 また、「義務教育学校」が新たな学校種として規定され、来年度から施行される。今後全学校区での小中一貫校(コミュニティ・スクール)構想を打ち立て、その実現に向け、力強く歩み出してもらいたい。そのため、学校・地域の連携・協働体制を構築していく必要があると考える。 このことから、「学校・家庭・地域の連携強化を図り、」を「 <u>家庭・学校・地域が連携・協働し、</u> 」に表現を変更してはどうか。	近江八幡市教育振興基本計画の目標を採用しており、市の大綱のベースとなる同計画を尊重するため、案のとおり採用させていただきます。
	32	6	26～27	この2行を、1行目の「2) 15の目標」の次の行に入れてはどうか。 説明があつて、次に枠囲みの15の目標が続くほうが、読んでいて、この方が流れがよく、理解しやすい。	お示しする必要があるものは、まず15の目標であること、そして4ページでの表現の配置も同じような順で表現していることから、並びはそのままとさせていただきます。